

改革概論 (129)

大内 民 恵

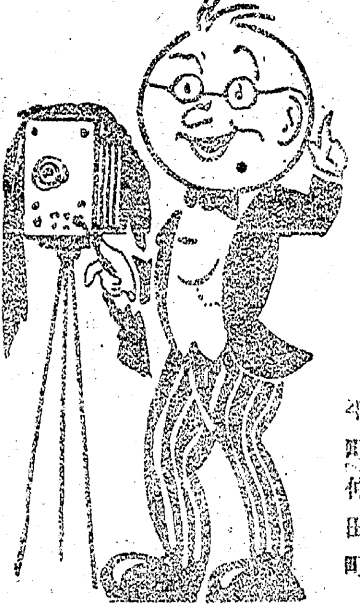
参考資料
 姉やた子(二姉は夭折)と
 私に對する訓練は實に嚴格なもので勉強は學校でやるべきものに歸つては家事の手傳をせよ、それが一人間の務一なりといふ方針で弟妹の子守もさすれば備人に立ち交つて桑畑や野菜圃(田は小作さす)の手入もさせ、廣い庭園の草を一本ツ、抜かせるといふ有様なので學校でも家庭でも異様な生活をしたものであつて母よりは柔慈、養父よりは剛嚴な寺小屋式の流をくんだ家庭教育を受けたのであります、然して「學問をして藥庭標の爲に」といふ考は常に頭をはなれることがなかつたのであります、實父が生前をういふ事を常にいつて居つたと云ふ事は母もそれを私には隠して學問をして豪くなれば自然家にも居られなくなり従つて大内家の祖先に對しても濟まぬ平凡な人間でもよいから無事に家督を相続する様にといふことを念じて居たのであります、私が夜遅く、朝は早く、寸暇を惜んで養父にかくれつ、勉學にふけつて居る様子を見て「あれの父が生前にかくの事をいつて居つたが其念願があるのだから、又そんな事をあれに話せば、彼れを泣せ、且どんな事をしないとも限

らなから絶対に秘密にして居ると涙ながらに姉に話したといふ事を母の歿後近年になつて聞いたのでありますが一の奇蹟であると思ふのであります。

破格の勉強で 歡迎される
 静岡本場 大角園 特約
 小笠原茶 半谷 商店
 平大町若松病院隣

二十八日發行某新聞紙上に恰も當校が經營困難なる爲め教員三名を減首したる事に端を發し生徒間に不安の空氣漲りつゝ、あるかの如き記事掲載相成候處當校に於ては教員を減首したる等の事實無之隨つて生徒の動搖等絶對無之候間乍余事御省念被成下度以紙上謹告候也
 八月二十八日
 福島縣 平町 藤田女學校

親切と迅速をモットーとする
 寫眞の御用
 命は皆館へ
 大野寫眞館
 平町 仲田町



幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本劑のみ
 肺病、肋膜炎、肺炎カタル等々
 定價 一圓、四圓、六圓
 平町五丁目
 特約店 山野邊藥局

元 詰 G.H.N. スペイン
 葡萄酒 トロイ
 甘味酒 フォ
 ゴル
 西村屋藥舖

金物問屋
 金屋
 商店

産兒制限相談所
 市原卯太郎

舊曆 御盆佛具賣出し
 御位牌、御佛壇
 佛膳、佛器具一式
 新盆へのは贈物に佛器具を御勸め致します
 平町三丁目
 電話三五九番
 本丸 はん

初秋とサロシ
 樽詰生ビール並に
 タンク入りソーダ水
 平町のソーダフアンテン
 コップ一杯 五十銭
 ソーダ水 各種 五十銭

亡妻新盆の處時節 御提灯其他の供物一切 乍失禮御辭退申上候
 平町 田町
 市原卯太郎

産兒制限相談所
 市原卯太郎

味贈醤油 正宗 山崎會社
 御進物には 商品切手
 電話 營業部 二七番

御中元大賣出し
 御贈答用品
 大 八 縮マヤ 二十五
 中 縮マヤ 二十
 小 縮マヤ 十五
 平町 田町 電話 三五九番

市原卯太郎
 平町 田町 電話 三五九番